

## 文化と観光で心触れ合う明るい未来へ 青少年の相互訪問を5年間で3万人規模に

### 中日両国外相が「開幕式」に出席

中国駐日本大使館と中国文化・観光部は4月23日、東京・元麻布の同大使館宴会場で「2019 中日青少年交流促進年／美しい中国文化観光の夕べ」レセプションを開催しました。

中国の程永華駐日大使は同レセプションの冒頭で、「中日両国政府は2019年を『中日青少年交流推進年』と定め、今後5年間で3万人の青少年による相互訪問を目指す」と挨拶



レセプションでは、中国の子ども達による合唱が披露されました

を。同大使によると、4月中旬に中国を訪れた河野太郎外務大臣と王毅国務委員兼外交部長が北京で行われた「中日青少年交流推進年」の開幕式に共に出席しており、同レセプションの開催も「この共通認識を実行に移す重要な二環」であることを強調しました。

### 友好関係の歴史に新たなページ

レセプションに出席した観光庁の田端浩長官は、昨年の中日間における人的交流が1100万人を突破したことと言及し、「中国からは838万人の方々を日本を訪れていただき、日本の様々な観光資源を楽しんでいただいていることを大変に嬉しく思っている」



相互交流の拡大へ中日両国の観光行政トップらが顔を揃えました



中国の程永華駐日大使



観光庁の田端浩長官



中国文化・観光部の李金早副部長

中国駐東京観光代表処

と挨拶。その一方で、中国を訪れる日本人旅行者が269万人にとどまっていることに触れ、「観光交流においては双方向で交流を拡大していくことが極めて重要」と強調して、「日本からのアウトバウンドの拡大にも尽力していく」考えを表明しました。

田端長官は、日本政府が特に、若者によるアウトバウンドを促進するため、「ハタチの一步」プロジェクトを開始したことも紹介。「日本では1400年前から、隋や唐に派遣された若い世代が、わが国の発展に大きく貢献してきた」と指摘し、「日中両国の若い世代がお互いの国を自分の目で見て視野を広げ、交流し合うことで、日中両国民の相互理解を深め、日中両国の友好関係の歴史に新たな1ページを加えてくれることを切に祈っている」と語っています。

### 新たな観光地が中国各地に出現

中国文化観光部の李金早副部長は、「中日関係が正常な軌道に戻り、観光

交流も新たな発展を続けるだろう」と指摘し、「観光交流は両国間の相互理解と相互信頼の促進、両国間の世論基盤の強化において積極的な役割を果たしてきた」と強調しました。

李副部長は、中国文化観光部が日本の国土交通省と両国間の文化観光交流の促進を図るため、「資源の共有、市場開発、産業革新において協力を進めていきたい」と考えを表明。「中国では近年、観光産業と関連産業の統合が積極的に進められており、文化観光や農村観光、林業観光、工業観光、スポーツ観光、研究観光、漢方薬健康観光、科学技術観光という新しい観光産業が出現している」と説明した李副部長は、「観光+美しい農村建設、観光+特徴ある町、観光+都市建設など、観光地となり得る村や町が中国各地に出現している」と語り、「中日青少年交流促進年を追い風に、文化と観光の融合により、心触れ合う明るい未来を切り開きたい」と意欲を示しました。